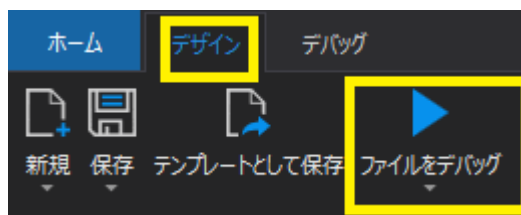


### <起動方法>

- ①UiPath をインストールしている PC で、「Main.xaml」をダブルクリックする。
- ②画面左上の「タブ：デザイン」の状態ですべて「ファイルを開く」をクリックする。



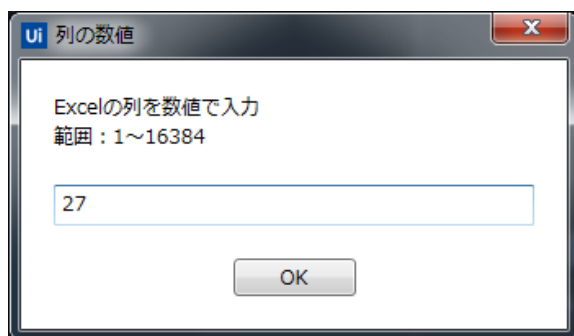
### <目的>

UiPath はデータ表の列を数値で扱うが、Excel はアルファベット(AA 列など)で表している。  
数値からアルファベットへの変換を行うことで対応させる。

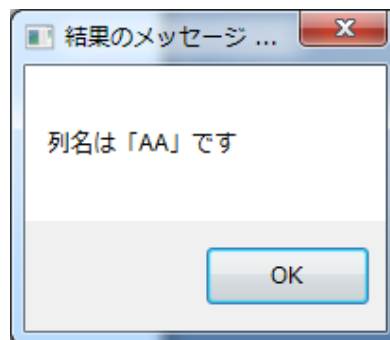
Excel2010 以降の最大列である XFD 列まで対応している。

### <使用方法>

- ①入力ダイアログに有効範囲内で数値を入力



- ②結果が表示される。



### <搭載機能>

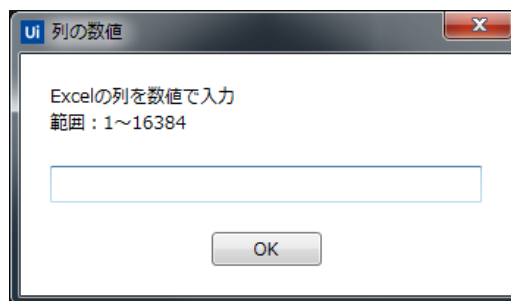
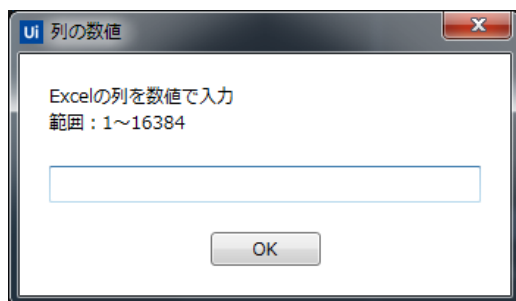
- ①全角で入力しても自動で半角に変換される。

例：27⇒27

- ②何も入力せず、「OK」をクリックしても次の処理に進まない。

何も入力せず「OK」をクリック

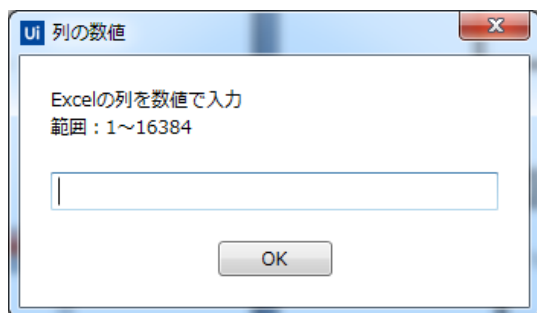
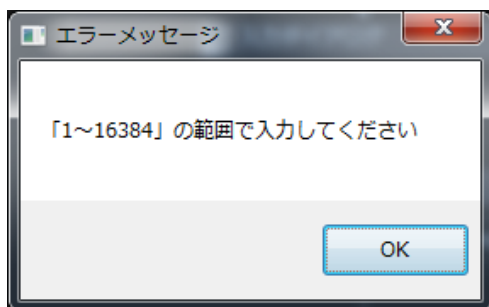
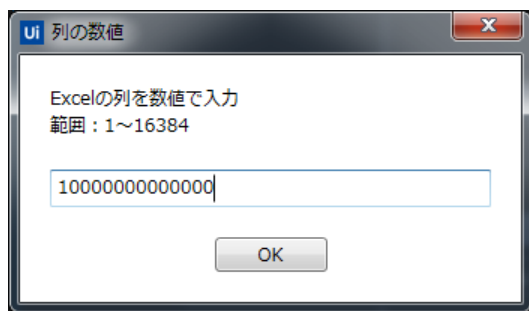
再び、入力ダイアログが表示される。



③有効範囲の「1～16384」以外が入力されていると、エラーメッセージが出る。

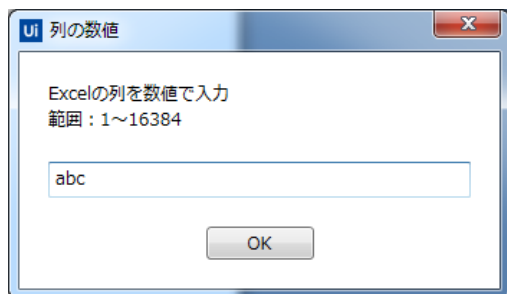
その後、最初の入力ダイアログ画面に戻る。

(入力制限機能)

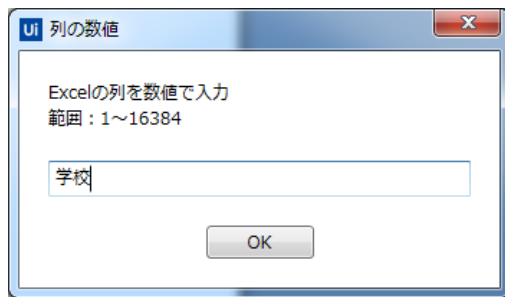


④上記③は、下記のケースも同じ対策を取っている。

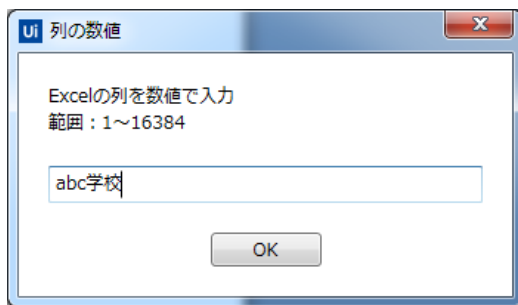
1 : 半角文字入力されている。



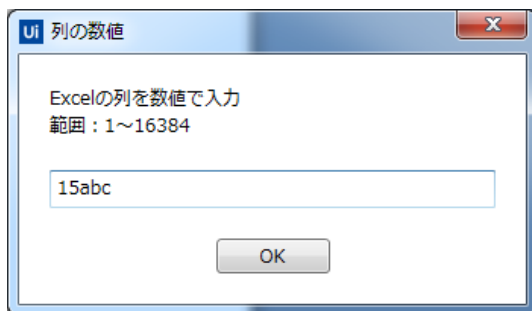
2：全角文字入力されている。



3：半角全角文字入力されている。



4：数値と文字入力されている。



#### <応用>

- Excel の列を数値で管理しているため、「〇〇を検索し、その列より△列後ろに××と入力」なども対応可能
- 入力制限機能は、別用途でもプログラムを使い回せる。